

とで、航路が埋塞することなく、継続的な漁業活動が可能となります。今後は、定期的な浚渫によるSP形状の維持が必要となりますので、汀線を含めた定期的

なモニタリングの継続、漂砂解析モデルの精度向上等により、確実に効率的な管理方策を検討して参ります。

## ■ 石狩湾新港ホームページを大幅にリニューアル 中国語・韓国語・ロシア語サイトを新たに作成

石狩湾新港管理組合

平成 29 年 10 月 4 日、石狩湾新港ホームページをリニューアルし、それまでの日本語・英語サイトに加え、中国語・韓国語・ロシア語サイトを新たに作成しました。

石狩湾新港は、平成 29 年の取扱貨物量(速報値)が過去最高の 658 万トンとなり、5 年連続で過去最高を更新するなど、北海道日本海側の物流拠点としての役割が一層高まってきています。また、外貿コンテナ取扱個数は、2 年連続で 5 万 TEU 超を記録し、コンテナ航路就航以来、堅調に推移してきたところです。

このような中、外貿コンテナ輸出入量の 1 位、2 位

である中国と韓国からは他国に比べて問い合わせも多く、ロシアについては本港の主要品目である LNG の更なる増加が見込まれていることから、本港の地理的優位性を生かし、中国、韓国、ロシアの対岸諸国に向けた情報発信を強化するため、今般ホームページの多言語化を行いました。

また、同年 10 月 10 日から 12 日までの 3 日間、千葉県幕張メッセで開催された「第 1 回 “日本の食品” 輸出 EXPO」において、本港の PR ブースを出展し、早速、多言語化ホームページを活用した取組を行いました。日本初となる食品輸出をコンセプトにした本展示会には、世界各国から海外のバイヤーが 2,860 名来場しましたが、バイヤーの中には本港を初めて知る方も多く、本港の位置やコンテナ航路等のサービスについての問い合わせに対し、今回作成したホームページを使用して、北海道産品の輸出における本港のメリットを説明するなど、効果的な PR を行うことができました。

これからも本港を利用する皆様の利便性向上とサービス強化のため、ホームページの機能・情報の充実化を図り、より有益な情報の発信に努めていきます。



ロシア語のホームページ

石狩湾新港ホームページ

<http://www.ishikari-bay-newport.jp/>

(ページ右上の「language」より言語を選択)



第 1 回 “日本の食品” 輸出 EXPO PR ブース

